

東海経済レポート

（2017 年 8 月）

～企業部門、家計部門ともに回復の動きを継続～

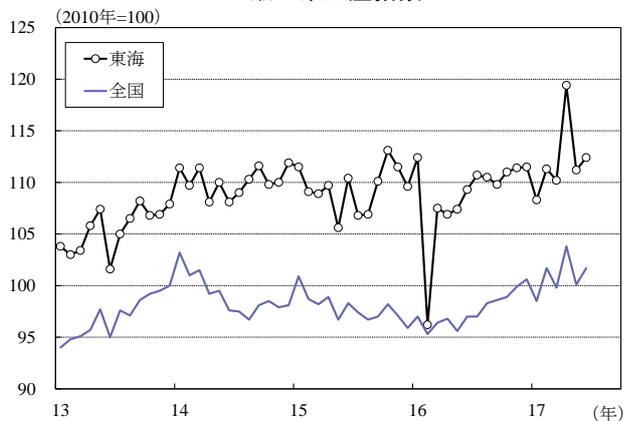
【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は回復の動きを続けている。企業部門では、生産や輸出が増勢を維持しているうえ、設備投資も先行指標とされる金属工作機械の受注状況が底堅い。家計部門も、引き締まった雇用環境の下、自動車販売や小売売上などが堅調に推移中。
- ▶ 生産は、6 月の鉱工業生産指数が前月比+1.1%と 2 ヶ月ぶりに上昇。電子部品・デバイスが同▲14.6%と 3 ヶ月ぶりに減少したものの、主力の輸送機械が同+10.4%と大幅に上昇したほか、電気機械、生産用機械等も増勢を維持。
 - ▶ 設備投資は、その先行指標とされる金属工作機械の 6 月の国内受注額が前年比+0.6%と 3 ヶ月連続の増加。受注の約 3 割を占める自動車工業からの受注が 5 ヶ月連続で同 2 桁増と好調なうえ、最大受注先である一般機械工業からの受注も 3 ヶ月連続プラスと底堅く、両業種からの受注が全体を牽引。
 - ▶ 輸出額（円ベース）は、6 月に前年比+5.3%と 5 ヶ月連続で増加。相手国別では、中国向けが 5 ヶ月連続で同 2 桁の伸びとなったほか、米国向けや EU 向けなども増加基調を維持。品目別では、自動車部品が 8 ヶ月連続で同 2 桁増と好調なほか、一般機械、電気機器、工作機械もプラス基調を維持。一方、自動車は 3 ヶ月ぶりの減少となった。
 - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。6 月の有効求人倍率は、三重県が 4 ヶ月連続で上昇し、1.68 倍と 1991 年 7 月以来の最高水準を更新。また、愛知県は 1.86 倍とリーマン・ショック以降の最高水準、岐阜県も 1.78 倍とバブル崩壊以降の最高水準域で、それぞれ推移中。
 - ▶ 個人消費は、6 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.7%と 4 ヶ月連続で増加。業態別では、今年 2 月まで 14 ヶ月連続前年割れであった百貨店が 5 月以降 2 ヶ月連続プラスと回復基調。一方、スーパーは 2 ヶ月連続の前年比マイナス。また、6 月の新車販売台数は同+15.4%と、12 ヶ月連続で増加。
 - ▶ 住宅着工は、6 月に年率換算で 9.3 万戸と前年比+7.6%増加し、2 ヶ月ぶりに前年比プラスとなった。分譲マンションが前年比+59.4%と大幅増加となったほか、戸建て分譲も同 2 桁増、持家、貸家もプラス転化。

【生産①】

6月の鉱工業生産指数は前月比+1.1%と、2ヵ月ぶりに上昇。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

業種別では、電子部品・デバイスが前月比▲14.6%と減少したが、輸送機械の同+10.4%が全体を牽引。

業種別の鉱工業生産(東海)

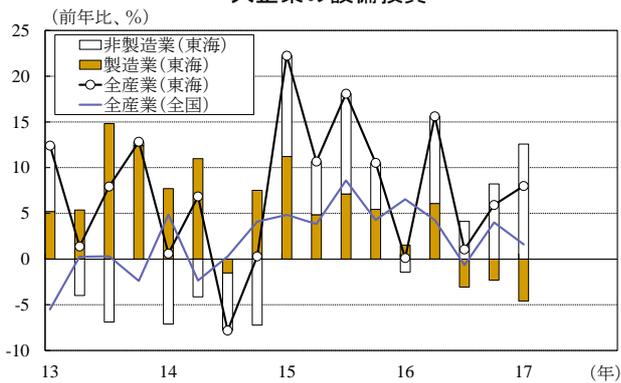


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

1-3月期の大企業の設備投資は前年比+8.0%と、10四半期連続で増加。非製造業の同2桁増が牽引。

大企業の設備投資

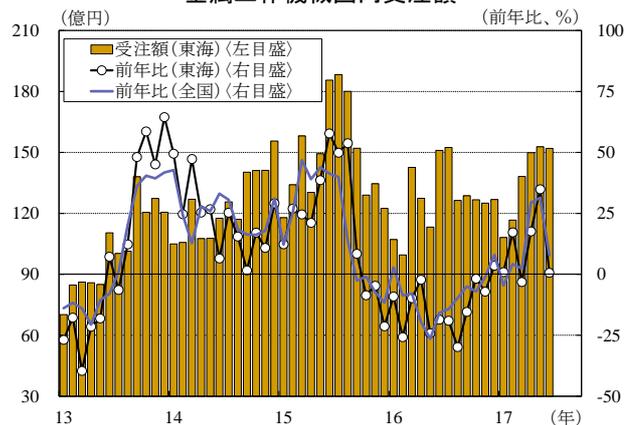


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は6月に前年比+0.6%と、3ヵ月連続でプラス。

金属工作機械国内受注額

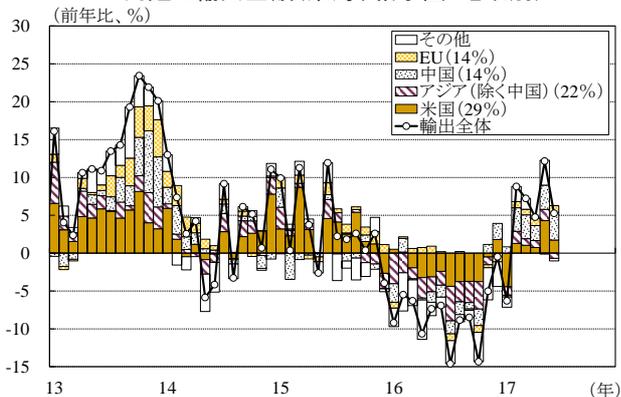


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

6月の輸出額(円ベース)は前年比+5.3%と、5ヵ月連続増加。中国や米国向けなどが増加基調を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

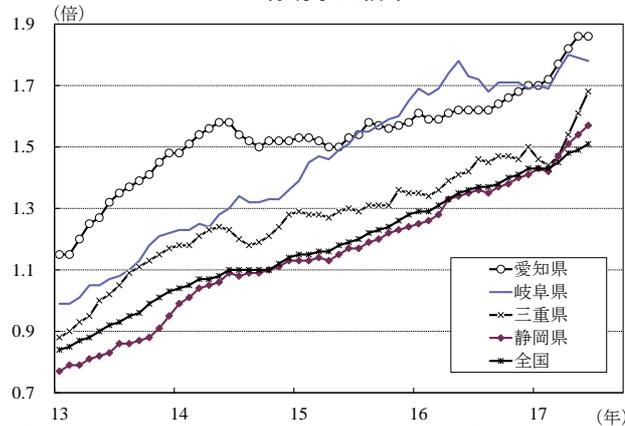


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

6月の有効求人倍率は三重県がバブル後の最高水準を更新。愛知県、岐阜県も高水準で推移中。

有効求人倍率

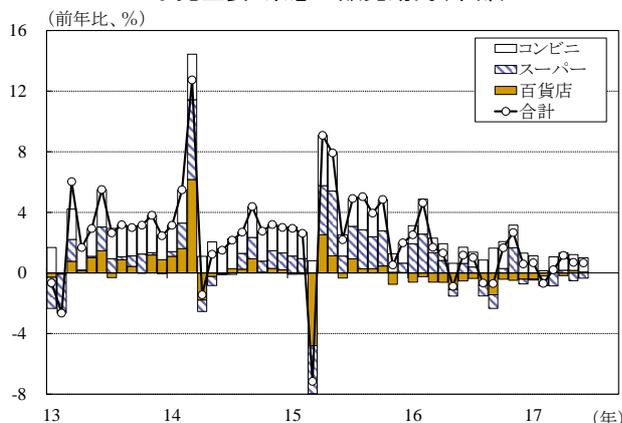


(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

6月の小売主要3業態の販売は前年比+0.7%と、4ヵ月連続で増加。百貨店が2ヵ月連続増と回復基調。

小売主要3業態の販売動向(中部)

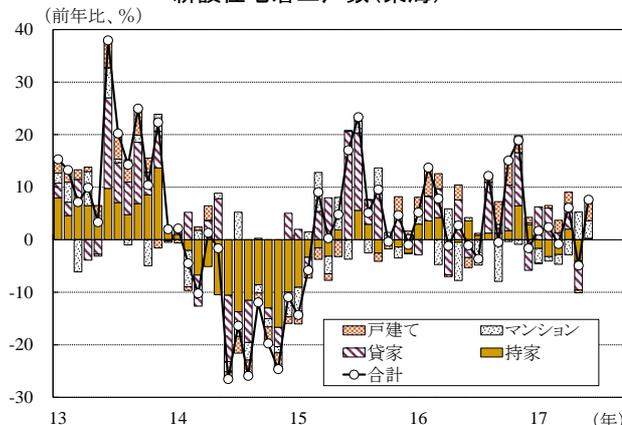


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

6月の住宅着工戸数は年率換算で9.3万戸と、前年比+7.6%。戸建てとマンションの伸びが全体を牽引。

新設住宅着工戸数(東海)

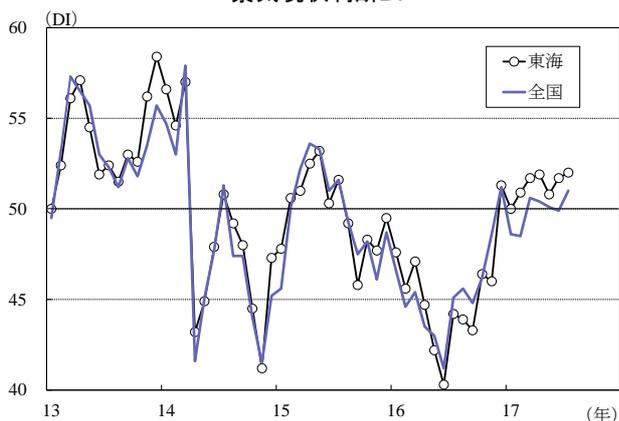


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

7月の景気現状判断DIは52.0と、2ヵ月連続で上昇し、2015年5月以来の高水準。

景気現状判断DI

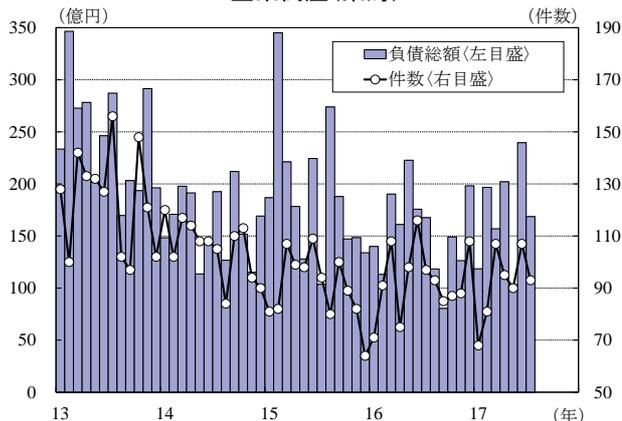


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

7月の企業倒産件数は93件で前年比▲4.1%の減少。負債総額は同+0.6%の増加。

企業倒産(東海)

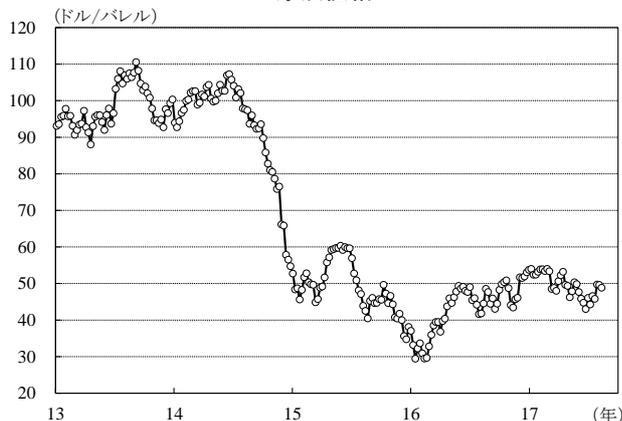


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、OPECと主要産油国の追加減産合意等を受け、1バレル50ドル前後まで再上昇。

原油価格

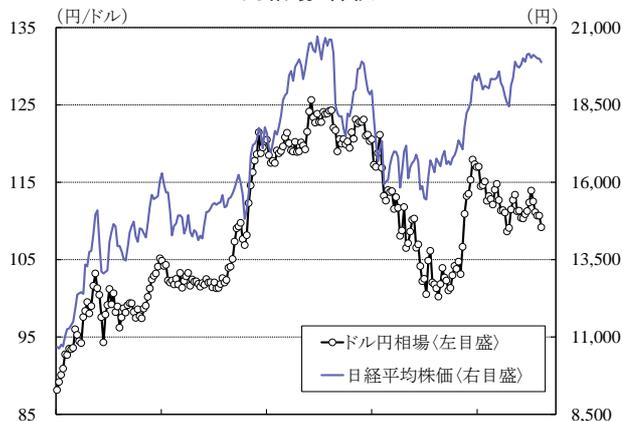


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

米国の追加利上げ観測の後退、東アジアの地政学リスク増大等からドル安・円高が進行。株価も下落。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。